

OKIセミの仲間と連帯する会結成される

ROOM社へ八王子の存続など申し入れ

「OKIセミと親会社ROOM社に、雇用と地域経済を守る社会的責任を果たすように求めていく」目的で労働組合、地域住民、大学教授、弁護士など多彩な人々が結集して「OKIセミコンダクタの仲間と連帯する会」が結成されました。

申し入れ内容

OKIの半導体事業はROOM社に約90億円で売却されOKIセミコンダクタに改名された。売却当時約6千人の従業員は3千5百人体制へと人減らしが進行しています。

半導体部門をOKIセミコンダクタ(株)として分社化した沖電気工業株式会社は、1960年に八王子市が誘致した企業で、以来半世紀にわたり八王子市の中心的な企業として、雇用の創出、関連企業の養成など地域経済の発展に寄与してきたことは周知のことです。

分社化当時社長は、労働者に対して「会社分割に伴う労働契約の承継等に関する法律」(以下承継法という)に基づいて、労働条件はなんら変わることなく維持される旨の説明をしました。ところが、買収直後の11月から、Gパンや派手な服装規制、機の並べ方への干渉、清掃業者の65分力ツト、残業の一部規制など職場支配を強める一方、大幅な人減らし合理化を打ち出すなど、社長の約束は反故にされました。2009年を迎え、1月13日の「転進支援制度」の締め切り時には、本体・宮崎・宮城で350名を超える労働者が退職に追い込まれました。2月13日には、「一時帰休制度の提案」、17日には「構造改革に関する提案」が矢継早に打ち出されました。この会社提案は、本体の解体をも意味する極めて過酷なもので、本体だけで既に590名が「希望退職」という、労働者は苦渋の選択を余儀なくされています。さらに、今後に控える大規模な配置転換計画は、労働者に極めて過酷な広域配転を強いる一方、半世紀にわたって地域経済に貢献してきたOKIセミの八王子からの撤退を意味するものとして、私たちは到底容認できないものではありません。

ROOM横浜へ申し入れ

5月29日、連帯する会として初めてROOM社に行き1〜4を申し入れました。

- 1 承継法の問題にのっとり、OKIセミコンダクタで働く労働者の労働条件の承継を強く申し入れます。
- 2 希望者は八王子工場で働けるよう、労働諸条件の整備に努力されるよう申し入れます。
- 3 八王子市が誘致し、以来半世紀にわたって地域経済の発展に寄与してきた、OKIセミコンダクタ(株)八王子工場存続のために、貴社の社会的責任を果たしていただきたい。
- 4 貴社の内部留保の一部を使って、雇用の維持を図っていただきたい。

連帯する会側からは、菊池(東京地評・会長代理)、中村(八王子労連・副会長)、伊澤(事務局長)、米田(事務局)、今井(電機懇代表世話人)ROOM側は、人事課長、危機管理G参事が対応しました。

オアシス

2009年
6月10号

OKIセミコンダクタの職場を明るくする会
東京都港区三田3-2-20 TEL 03-3455-6006
<http://oak47-02.web.infoseek.co.jp>

職場新聞「オアシス」はOKIセミと関連企業の職場新聞です。東京のオアシスとして世界に誇る高尾山が身近にあることから命名しました。